

2013 年度第 4 回研修委員会議事録

- 日 時 : 2013 年 7 月 19 日 (水) 13:30~17:00
場 所 : 明治大学 明治大学図書館 図書館資料室
出席者 : 山田雅子 (慶應義塾大学)・藤原明子 (早稲田大学)・南川真貴子 (中央大学)・佐々木俊介 (桜美林大学)・杉谷美和 (明治大学)・伊原千秋 (中央大学)・渡邊崇 (株式会社 トランスヒューマン)・吉田勇 (シカケ株式会社)・石井優美 (桜美林大学リベラルアーツ学群) 金万智昭 (専修大学)・恒次知美 (専修大学)
- 議 長 : 山田雅子 (委員長)
記 録 : 恒次知美 (専修大学)
配布資料 : ① 2013 年度第 4 回研修委員会 議事次第 (委員長作成)
② 実習内容案:2013/7/5 打合せより (委員長作成)
③ 2013 年度研修会テーマ等について (藤原委員作成)
④ 2013 年度研修会テーマ案 (南川委員作成)
⑤ 2013 年度研修会資料 (佐々木委員作成)
⑥ 2013 年度研修会について (杉谷委員作成)
⑦ 2013 年度研修会テーマ案 (伊原委員作成)
⑧ 2013 年度研修案について (恒次作成)
⑨ 第 4 回研修委員会<素案> (渡邊氏作成)

議 事

1. 2013 年度研修会 検討

1.1. 渡邊崇様、吉田勇様自己紹介

一部のメンバーとは初顔合わせになるため、渡邊様、吉田様に自己紹介をお願いした。

1.2. 2013 年度研修会 検討

1.2.1. 7 月 5 日 渡邊様との打ち合わせ報告

2013 年 7 月 5 日に (株) トランスヒューマン渡邊氏とシカケ (株) 吉田氏、山田委員長、杉谷委員、佐々木委員で打合せを行った。

キャンパスの入口から図書館までの誘導、および図書館内の掲示、読書推進、学外向けの広報などが実習候補として挙げられた。また、これらの企画のうち、読書推進等については桜美林大学の学生に協力してもらい、利用者である学生に効果的な広告を作ることを目標にすることが話し合われた。

1.2.2. グループワーク実習検討

7 月 5 日の打合せの意見をまとめ、渡邊氏より研修会の素案が提案された。

講演では「図書館ブランディング」、および「新しい図書館」について語っていただき、翌日のワークショップでは具体的なテーマを「会場校である桜美林大学図書館の魅力を表現する」として実作業を行うプランが提案された。

ワークショップでは、事前準備、グループ別に POP (ここでは広義の POP として、大きなポスターや案内図等を含んだ広告物全般を指す) を作成することを目標とした。

これらの POP はワークショップの最後に発表、講評を行う。事後調査として、実際に桜美林大学図書館で掲示をして学生の反応を見て、それぞれの大学にその成果を持ち帰っても

らうという提案がなされた。

今回のワークショップでは、実作業を通して、図書館からの情報発信を学ぶことが一番の目的となっている。

全体のスケジュールとしては、一日目に基調講演、テーマ別講演を2本、二日目がグループワークとなっていた。

二日目の具体的なスケジュールは、企画の意図を20分程度で説明し、11時30分まででグループ名の設定、13時より作業を再開し実際のPOPを作ってもらう案が提案された。この際に、まだテーマ別講演者が決まっていなかったことから、前日の夕方はグループワークの準備として、桜美林大学図書館や大学全体はキャンパスツアーをやっている学生などに案内してもらうことで、学生の視点をとらえた実習ができるようにという案が出された。また、これらの広告を実際に掲示するという観点なら実際に掲示できる場所の調査、チーム数についても議論された。掲示場所については、一日目に第二希望までの希望を提出してもらい、当日決定する旨が語られた。

チーム数に関しては1チーム4～5人で8チーム、最大で1チーム7人で10チームが対象人数とされた。

また、学生の意見を求める研修であること、もともとSNSなどの媒体をどう情報発信に絡めるかという部分も踏まえ、研修内容、および研修成果をTwitterで実況するなどの提案がなされた。こちらについては、図書館司書に関するイメージを変える意味でもハッシュタグを使って中継する事が出来れば面白いのではないかという意見がだされた。

また、桜美林大学学生 石井さんが参加する読書プロジェクトに協力を依頼し、読書プロジェクトのTwitterアカウントの使用、ブログへの掲載などについても検討していくこと決定した。

1.2.3. 講演者検討

基調講演について佐々木委員より諸星裕氏(桜美林大学大学院教授)にご快諾いただいた。正式な依頼は後日行う予定となる。仁上 幸治(帝京大学総合教育センター准教授)については、授業があり、参加が難しい旨の連絡があった。ただ、こちらについてはもう一度再交渉をする予定となる。また、仁上氏が難しい場合は尼川洋子氏に(人と情報を結ぶ WE プロデュース) 依頼することが決定した。

2. その他

2.1. テーマ案の検討

宿題事項となっていたテーマ案についての話し合いがなされた。この場では決定しなかったため、山田委員長が次回までに最終的な案をまとめてくることが決定した。

2.2. 今後の流れ

まず、山田委員長より、仁上氏、尼川氏へ連絡を取り、その結果をメールで報告することとなった。結果は8月末に予定されている研修委員会で報告することとなった。

開催通知に関しては9月上旬までに発送することとなった。

2.3. 次回研修委員会の日程について

今回は中央大学 多摩キャンパスにて開催予定となる。

候補日は8月26～27日で後日決定する。

以上